

科目名 診療画像技術学実習Ⅱ

1 単位 45時間 昼間部 2 年 前・後期 担当講師 河合 繁、田口 好晃、高 春美、松尾 健一

教育目標

X線透視・撮影・CTに関する実習で、ファントムを使用し実際の透視・撮影技術、CT、特殊撮影、患者接遇を習得させる。また、超音波検査法を習得させ、画像解剖の学習をする。

使用教材 医用放射線技術実験（臨床編） 田中 仁ほか 共立出版

各実習の配付資料

推奨参考書 診療放射線技術（上巻） 立入 弘ほか 南江堂

一回あたりの学生数 3 / 5 クラス 班の構成 5 班 一班あたりの学生数 約 8 名

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 レポート、実習態度、その他

授業概要（前期）

1 回 ガイダンス、撮影実習日程表及び実習内容の概要説明

2 回 ～ 14 回

①頭部の撮影、②上肢・下肢の撮影、③CT検査（頭部撮影、CTの性能評価）

各班に分かれて①～③の実習を実施する

15 回 臨床実習前確認試験（実技）

授業概要（後期）

1 回 ～ 14 回

①胃部透視撮影・乳房撮影②超音波（腹部・体表）③CT検査（体幹部、造影剤）、眼底検査

各班に分かれて①～③の実習を実施する

15 回 予備日（実習のまとめなど）

【実務経験】

診療放射線技師として大学病院に 20 年間勤務。医療機関での実務経験をもとに診療画像技術学実習Ⅱについて話します。

（河合）

診療放射線技師として国立病院機構に 6 年半所属、教育機関（専門学校 4 年）に在職。大学院博士前期課程を修了。実務経験、過去の研究をもとに診療画像技術学実習Ⅱについて話します。

（田口）

診療放射線技師として市立総合病院に 12 年間勤務。医療機関での実務経験をもとに診療画像技術学実習Ⅱについて話します。

（松尾）